



伊野小学校タブレット活用授業

10月5～8日に、伊野小学校の3つの学級にて、研究主事小笠原の研究テーマに沿った研究の環境として、タブレットを使った図画工作の授業を行いました。子どもたちは図画の作品作りを通して、タブレットのカメラや絵画の機能を使ったり、作った作品を友達と交流したりすることで、友達の表現の面白さや楽しさを感じることができました。

今回の研究所だよりでは、授業の様子について報告します。

第3学年図画工作科 題材名「タブレットでできる!みんなニコニコ落書きアート」

本時のねらい

- ・ タブレットを使って落書きをしたい場所の写真を撮り、絵画ツールを使って楽しい落書きをすることができる。
- ・ 作品をGoogleクラスルームで共有し、友達の作品に感想を書くことができる。

授業展開(2時間扱い)

1. 課題をつかむ(5分)

写真の上に楽しい落書きをした教師の作品例を児童に見せる。



T:落書きって、どんなイメージ?

S:してはいけないよ!

T:こんな落書きならどうかな?

S:写真に撮って、その上に描いたらいいね。

S:みんなが笑顔になる絵がいいよね。

2. 落書きをするときの約束(5分)

「見た人がニコニコになる絵」とはどんな絵か考える。



S:明るい絵がいいね。

S:楽しい絵を書こう。

S:ちくちく言葉は使わないよ。

学びのルールや友達を大切にする視点については子どもにしっかり押さえます。

3. 写真を撮る(15分)

落書きをしたい場所を選び、写真を撮る。



S:木に落書きしてみたいな。

S:何を描こうかな。

子どもたちは写真をどんどん撮りました。撮りながら、どんな作品にしようかイメージを膨らませました。

4. 写真の上に絵を描く(20分)

写真を選び、
絵画キャンパスで絵を描く。



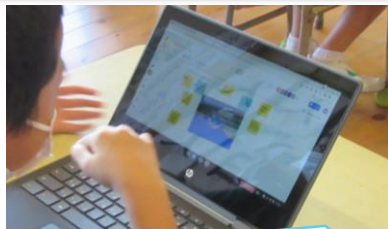
S:たくさん色を使おう。

S:教室に動物がいたら楽しいな。

chromebookのアプリ「絵画キャンパス」を使って撮った写真に絵を描いたり色を塗ったりします。ペンの種類や色を自由に選べるので、使いやすいツールです。

5. 友達に作品を見せ、コメントをもらう(25分)

自分の作品を
Jamboardに貼り付ける。付箋の機能を使い、友達の作品にコメントを書く。



S:コメントをたくさん書きたいよ。

S:私の作品にコメントが来て嬉しいな。

キーボード操作が苦手な子どもには、
手書き入力ができるようにします。

作品を作って終わりではなく、友達からコメントをもらうことで、双方向のコミュニケーションができます。

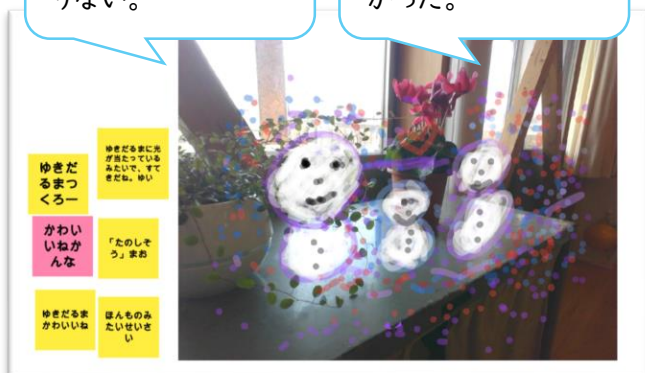
児童の感想・作品

友達の絵がそれぞれ違って、個性が出ていた。

自分の絵に、友達からコメントが来て楽しかった。

もっとふせんに書きたかった。時間が足りない。

友達にもらったコメントに返事を書きたかった。



成果と課題

成果

- ・ 2時間の授業で、「写真を撮る」「絵を描く」「友達と共有する」「友達の作品にコメントを書く」という、たくさんの活動ができました。子どもたちはとても集中して活動に取り組みました。
- ・ ICTを活用することで、子どもは進んでコメントを書き、友達の作品に関わろうとしました。
- ・ 離れた場所でも友達と作品を共有できるので、他の教室等で授業を受けることも可能です。授業の可能性を広げることができました。

課題

- ・ 子どもの作業が複雑なので、指示の仕方を明確にしなければいけません。もっと視覚的で分かりやすく指示をすることが必要でした。
- ・ 付箋に書く内容や、記名することといった、授業中使う言葉について意識して指導する必要性がありました。

授業内容について興味がある先生がいらっしゃいましたら、教育研究所:小笠原までご連絡いただければ幸いです。(Tel:893-1922 いの町教育委員会内)